

5. 選抜方法及び試験科目

入試制度	選抜方法
一般入試	筆記試験（下記の筆記試験科目表を参照）、口述試験、出身学校の成績等により選抜。
社会人特別選抜入試	<p>【博士前期課程】</p> 筆記試験（外国語（英語）・小論文）、口述試験により選抜。 <p>【博士後期課程】</p> 筆記試験（外国語（英語）、口述試験（研究業績書及び研究計画書に基づく内容、研究計画に関するプレゼンテーション及び専門知識に関する質疑応答含む））により選抜。

一般入試 筆記試験科目表（筆記試験の他、口述試験を実施）

博士前期課程

専攻	外国語※1	専門科目	口述試験（面接）
		選択科目	
生物生産学	英語	植物資源生産学、植物分子遺伝学、植物資源保全学 動物資源保全学、動物資源生産学、動物生殖工学 のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	有
アクアバイオ学	英語	水産増殖学、水圏生物学、水圏生産科学 水圏生態学、水圏環境学、水産資源学 のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	有
食品香粧学	英語	食品加工学、食品化学、食品保蔵学 生物化学、応用微生物学、機能有機化学 のうちから入学後専修を希望する科目と他1科目を選択する。	有
産業経営学	英語（経営学・経済学）、英語（農業経営学・農業経済学）から選択する。	経営学、経済学 のうちから1科目を選択する。 地域産業論、会計学、情報処理論、環境経済学 のうちから1科目を選択する。	有

※1 外国語を「英語」以外で受験する場合は必ず各専攻に問合せてください。外国語を「日本語」で受験できるのは外国人留学生のみです。外国語を「英語」で受験できるのは、英語を第一言語としない者のみです。外国人留学生でも英語が第二言語・第三言語等の者は「英語」で受験できます。

博士後期課程

専攻	外国語※1	専門科目	口述試験（面接）
生物産業学	英語	作物生産管理学、動物栄養学、生物資源学、生物工学 水産増殖学、水圏生態学、水産生物学、水圏環境学 食品開発加工学、機能有機化学、生物化学、応用微生物学 経営学、経済学、農業経営学、農業経済学、情報処理 のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した科目1科目を選択する。	有

※1 外国語を「英語」以外で受験する場合は必ず各専攻に問合せてください。外国語を「日本語」で受験できるのは外国人留学生のみです。外国語を「英語」で受験できるのは、英語を第一言語としない者のみです。外国人留学生でも英語が第二言語・第三言語等の者は「英語」で受験できます。

社会人特別選抜試験 試験科目表

課程	専攻	外国語※1	小論文	口述試験（面接）
博士前期	生物生産学 アクアバイオ学 食品香粧学 産業経営学	英 語	有	有
博士後期	生物産業学	英 語	—	有

※1 外国語を「英語」以外で受験する場合は必ず各専攻に問合せてください。外国語を「日本語」で受験できるのは外国人留学生のみです。外国語を「英語」で受験できるのは、英語を第一言語としない者のみです。外国人留学生でも英語が第二言語・第三言語等の者は「英語」で受験できます。